2012年(平成24年)11月13日(火曜日)　夕刊　矢祭　東舘字桃木町42　夕刊矢祭新聞社　昭和57年12月6日第３種郵便物認可
(NO, 11192)　友引(旧　9月30日)　新人　菊池正典　☎46-3508　日刊(日曜、祭日、第二・四土曜休刊)　月額 1,000円

金沢「きずな」文庫披露

もったいない図書館で「家読まつり」

〔子ども読書の街〕推進へ多彩な企画

たろうくんの じどうしゃ

矢祭もったいない図書館主催、町教育委員会共催の「家読（うちどく）まつり」は、十日午前十時から多彩なイベントにより参加者は図書館で充実した一日を過ごした。

オープニングでは故金沢昭前館長の遺志により寄贈された金沢「きずな」文庫お披露目式を開いた。

金沢「きずな」文庫は、金沢前館長が生前活動していたことにまつわる本を揃え、大型絵本、大型紙芝居をはじめ、科学、福祉関係から大文字による高齢者向けまで六十二冊を所蔵している。

お披露目式には長男の金沢健至氏も出席し、古張允町長が「金沢前館長の遺志が末永く生かされるよう活用して下さい」と挨拶、金沢氏、古張町長、古張金一教育長、藤井隆之館長により除幕し文庫を披露した。

次いで金沢「きずな」文庫を前に、山下字福住、桧山雪江さん親子四人が家読家族インタビューに応えた。（写真）

その後科学はてな？教室ではスプーンを使った実験を行い、昼食時には図書館スタッフが調理した豚汁・おにぎりで会食した。

午後は今年の手づくり絵本コンクール応募作品を大型スクリーンで読み聞かせおはなし会、クリスマスカードづくりの工作教室を開いた。

館内には本と親しむ家族を写した「わが家の家読写真」を展示、「うちどく福袋」の貸出し、本の持ち帰りができる「おすそわけコーナー」も設置し、手づくり絵本コンクール応募全作品、東館小・下関河内小六年生制作の観光パンフレットを展示した。